

この人に会いたくて

エンターテインメントでボランティア
いわた くみこ
岩田 久美子さん



コーラスグループのボランティアで、季節の歌に合わせて着ぐるみ姿で動き回って会場を湧かせる岩田久美子さん。インタビューの合間に大きな袋から取り出した手作りの鬼の着ぐるみ、そして赤鬼、青鬼のお面、張りぼての金棒。見るからに微笑ましい作品です。話が興にのってくると、落語のさわりまで披露されるサービス精神には脱帽しました。

●コーラスに着ぐるみって、面白い取り合わせですね

17年前、小学校のママさんコーラスのOBで「コーロ・フェリーチェ」というコーラスグループをつくって活動を始めました。最初は普通に歌っていたのですが、老人施設のクリスマス会に呼ばれた時に、歌うだけでなく何かしようと思ひまして、トナカイの着ぐるみを作って着て出たんです。そして会場の空気が一変してえらくうけたもんで、視覚に訴えるのもいいのではないかと思います。それからボランティアに呼ばれるたびに季節の着ぐるみを作るようになりました。はじめは一列に並んで歌って、途中で着ぐるみを着て出て行きます。そのとたん、みなさんの顔が「ぱーっ」と明るくなって、客席から「ひゃーっ」と声が上がるので、私もすぐのってきます。また、施設のスタッフさんから「いつも無表情だった人が初めて歌っておられるのを見ました。」と喜んでくださることもあって、どこかに響いているんだろうと思っています。「また来てね」と言われると本当にうれしいです。毎年12月には干支の着ぐるみを作ります。節分は鬼の着ぐるみで「赤鬼青鬼のタンゴ」という曲を歌い、スタッフさんと踊ったり、お面を利用者さんにかぶってもら

たりします。最初は、「そんなんはすかしいわ」と言われませんが着けてみたら嬉しそうです。やり始めたころは仲間内でも幼稚すぎないかという意見もありましたが、みなさんの楽しまれているようすを見て力をもらっています。ただ、着ぐるみを着ていてもメインはコーラスですので、コーラスの上達は大事にしようと思っています。

●落語もされているとか

高校時代に落語研究会に入っていました。その時、テレビの素人名人会に出たことがありまして、審査員の桂小文枝さん(桂三枝さんの師匠)に舞台のそでで声をかけていただいて感激した思い出があります。その後すいぶん遠ざかっていたのですが、4年前ローズワムにある落語サークル「ごりょんさんの会」に入会して、月に一度露の都師匠に教えていただいています。落語のときの名前は「都亭ひまわり」です。この会には個性的な方がたくさんいて刺激を受けますし、楽しくやっています。老人会やサークルのイベントに呼んでもらうのですが、笑いどころでシーンとなったり、思わぬところで笑ってもらえたりとなかなか難しいものです。

●これからはどんなことをしたいとお考えですか

「コーロ・フェリーチェ」という土台があってこそ、こうやって楽しませてもらっているのだからこれからも大事にしたいと思います。これまでに訪問した施設のスタッフさんが口伝で伝えてくださるみたいで、行ったことがないところからも「コーロ・フェリーチェ」さんをお願いしますと指名が入るので、まだまだ行っていないところを訪ねたいです。さらに、個人的にですが、子どもさんが長期入院されているようなところにも訪問したいと思っています。



編集ボランティアも衣装をつけてみました



老人施設のクリスマス会で

猫歩きを一っしょに見ている。

エッセイ 第53回 「私の時間」

田中 浩子

我が家には同居している黒猫がいる。以前は犬を飼っていた。大型犬で散歩の時間も長く、何かと大変だったので亡くなってからは生き物は飼わないことに決めていた。だが、なりゆきで飼いはじめてもう5年になる。猫は楽だと聞いていたので軽く考えていたがやはり生き物は一筋縄ではいかない。野性味が強く、人が来たら隠れて出てこない。夜行性を発揮して夜中に顔をだたいて起こしてくることがあり、無視しているとエスカレートして周りにもものを落とす。お気に入りの花瓶を割られたこともある。この時も「猫だから」とあきらめるしか仕方なかった。媚びないし孤高な感じかと思えば、構ってほしい時は膝の上に乗ってきたり、読んでいる新聞の上に座り込んで邪魔をする。こちらから構うとつんと澄ましてのってこない。このギャップに参ってしまう。最近は猫ブームでCMなどで見かけることが多くなっているが、私も本屋さんで真っ先に写真集を探している。そして猫も見る番組、岩合光昭さんの「世界

グループ紹介

いばらきMIRAIカフェ

せーのっ「いただきます！」みんなさっそく作った料理を食べ始め、ワイワイにぎやかに過ごします。

こんなゆるーい活動をしているのは「いばらきMIRAIカフェ」。“食べる”を通じ茨木のいいところをみんなで共感体験する場として、茨木産の食材を中心においしい料理を作って食べる参加型カフェや芋ほり、バーベキュー等の野外活動を開催しています。

参加者は主に茨木に住んでいる方、働いている方、そして茨木が好きの方など。また、子供から大人、学生や社会人と年齢や職業が千差万別であることも特徴のひとつ。“食べる”に関しては老若男女を問わず自然と話題が見つかり、



初めての参加者同士でもすぐに打ち解けられるので、地元のお友達が増えていくのもいいところ。

また、毎年1月には新年を祝う「もちつき新年会」を開催。これは最近もちつきをやったことがない子ども達が増えてきているのと、昔のような年末年始に親戚知人が集まる交流の場が欲しくて企画されました。特に今年は茨木市のゆるキャラ「いばらき童子」や「いばらっきーちゃん」も参加。親子連れにも大人気のイベントになりました。

“食べる”を通じ、しっかり楽しんで地元で暮らす。

そんな参加型カフェは

毎月第三土曜日 10:00~14:00に開催。

最新の開催情報や申し込み方法はホームページでご覧の上、是非一度ご参加ください。

連絡先 いばらきMIRAIカフェ事務局 森本康嗣

ibaraki@miraicafe.net

ホームページ <http://miraicafe.net>

●災害に遭遇したときどう行動するか。「防災ハンドブック」を読んでいても、いざとなったらうろたえるだけかも。日頃からしつこいほどの訓練の繰り返しが必要ですね。(山羽 昭完)

●陶芸講座講師の内山先生のお話から、過去の自分が原因で現在の自分が結果であると考えよりも、未来の自分を目標として現在の自分を投企するという生き方を思い出しました。(八木 寿則)

●今回桜通りを歩きました。佐和良義神社より南側も梅林公園まで良く手入れされています。気候の良い季節でもありますので散歩にお勧めです。(樋上 雅俊)

●1月中旬桜通りを下見した時は、終点の梅園のつぼみは固かったけれど、2月下旬に訪ねてみると一面香りが濃く色鮮やかに咲き誇っていて春の訪れを満喫しました。(梅澤 智恵子)

●茨木童子像前から桜通りを梅林まで歩きました。日頃何気なく通りますが、樋跡やオブジェなど見所もたくさんあり、最終地点にある記念カプセルには夢があります。(田中 浩子)

●ICTタグ導入により図書館サービスが充実。地域で必要な情報を容易に得ることができ、調べものを行う時など大いに利用したい。(小山 邦夫)

投稿募集・・・皆さんの投稿、情報をお待ちしています。

サークル、グループ活動紹介・こんな人を紹介したい！
私の時間（エッセイ、短歌、俳句など）・茨木の写真

〒567-0028 茨木市畑田町1番43号
茨木市立生涯学習センター内 生涯学習情報誌「まなびどり」事務局
TEL 072-624-8182 FAX 072-622-1268

E-mail kirameki@city.ibaraki.lg.jp

「まなびどり」はホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kira.city.ibaraki.osaka.jp/>

(投稿いただきましても、掲載できないこともあります。ご了承ください。)

掲載している記事やイラストを使用される場合はご一報ください。